

Monthly Confidential Report

(毎月1回20日発刊)

サマリー

月刊

電子写真総合情報

—MFP、光プリンター、レーザー/LED FAX、トナー、レジン、感光体、エンジン等を多角的に調査・分析するマーケティングレポート—

2024. 10



米・ゼロックス (A3/カラー) PrimeLink C9200 シリーズ



米・ブラザー工業 (A4/モノクロ) MFC-L2900DW



富士フイルムビジネスイノベーション
(A3/カラー) Apeos C3067



キヤノン (A3/カラー) imageFORCE C7165F



日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

「実販情報」より抜粋

■実販情報■

F-モノクロMFP (A3) - キヤノン 9

キヤノンのA3モノクロMFP(31~40ppm)の実販情報である。2022年から2023年は、約20%減となったが、2024年では、2023年から若干のプラス(約2%)で推移している。

主な機種名	スピード (ppm)	販売 エリア	出荷台数(台)		
			'22	'23	'24.2Q
imageRUNNER ADVANCE 4535F imageRUNNER ADVANCE DX 4735,4835,4935 imageRUNNER 2650	35ppm (A3)	日本			

OEM:
(Del.) M351

<機種概要>

キヤノンの本セグトエンジンシリーズで使用される位置する機種であり、商品の特徴は、キー無のコンパクトトガラス、パワープロセッサなど、上位のADFは、1パス、ドキュメント保護はWiFiが対応。また、給紙は、高性能なフィニッシャー業界標準のプリンター AdobePS にも対応サービスにも対応

<販売台数>

国内、海外ともに約20%の減少であるが、販売台数は、本クラスは、販売は、よく健闘してきた。

【特集2】「OGBS 2024」より抜粋

特集2-OGBS 2024

1. 展示会の概要

2024年9月25日(水)から9月26日(木)までの2日間、サンシャインシティ展示ホールDでOGBS 2024(オーダーグッズ・ビジネスショー)が開催された。同展示会は、日本最大級のハンコ&スタンプ、ウェアプリント、オリジナル&SPグッズの製造機器と資材が集う展示会。

出展は、一般出展社80社、クリエイターゾーン出展社19社、合計99社。

日付	来場者数
9月25日(水)	約20,000名
9月26日(木)	約20,000名



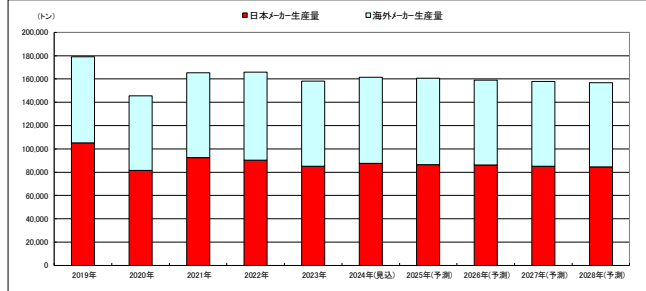
今回は同展示会に出展した産業用DTFプリンターを中心に紹介して

【特集1】「トナー市場」より抜粋

1. 全世界のトナー市場動向

1) 全体 (2019年~2028年)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年(見込)	2025年(予測)	2026年(予測)	2027年(予測)	2028年(予測)	単位: トン
日本メーカー生産量	105,189	81,573	92,485	90,167	85,110	87,445	86,600	86,073	85,156	84,475	
対前年比		77.6%	113.4%	97.6%	94.4%	102.7%	99.0%	98.9%	98.9%	99.2%	
海外メーカー生産量	73,870	63,980	72,810	73,962	73,063	74,000	73,930	73,940	72,870	72,490	
対前年比		86.6%	113.5%	103.9%	98.6%	101.2%	99.9%	98.8%	99.8%	99.4%	
生産量(トン)	179,059	145,553	165,295	164,129	158,173	161,445	160,530	160,013	158,026	156,965	
対前年比		81.3%	114.6%	103.9%	98.6%	102.1%	99.4%	99.1%	99.3%	99.3%	



2023年における全世界のトナー生産量は対前年比95.4%の158,173トン(日本メーカー:85,110トン、海外メーカー:73,063トン)。前年までに在庫積み増しの動きが一巡したことで、日本メーカー、海外メーカーともに在庫調整の局面に突入り大幅な減少となった。

2024年は日本メーカー、海外メーカーともに再び在庫積み増しに動いており、市場全体としても前年の生産量実績を超えてくるとみられるが、2022年の生産量水準には届かない見通し。コロナ禍にみられた部材不足や国際物流の混乱などがほぼ解消されたことで、やや過剰生産気味であった2021~2022年時よりも実需に見合った生産量を主要各社が計画できるようになってきており、ある意味でトナー市場の本来の実力が見えてくる年になると考えられる。

2025年以降のトナー市場もそれほど大きく減少することなく、当面は16万トン前後の生産量を維持していくと予測した。主要各社の先進国オフィスにおけるプリントボリューム(PV)はコロナ禍前との比較で80~85%の水準でほぼ固定化された印象である。ペーパーレス化やDXの進展によりPVの減少が加速するのではないかと懸念もあったが、今のところは今後数年で急激に減少していくような兆しはみられず、当面は一定のPV水準を維持していくとの期待感が強くなってきている状況にあると言えるであろう。

「その他情報」より抜粋

○ 展示会 - RemaxWorld Expo 2024 (写真速報) - 1

1. RemaxWorld Expo 2024 について

1) 概要

RemaxWorld Expo は、プリンタ/複合機の消耗品アフターメーカーによる世界最大の展示会。中国広東省珠海市で毎年開催されており、中国の主要な消耗品メーカーが一堂に会す。主催は珠海再生時代文

2) 基本データ

- ・開催期間：2024年10月
- ・会場：珠海国際会展中
- ・出展企業数：400社以

2. 展示会写真速報



「その他情報」より抜粋

○ 展示会 - ITMA ASIA + CITME 2024 (写真速報) - 1

1. ITMA ASIA + CITME 2024 について

1) 概要

ITMA ASIA + CITME 2024 は、世界最大の繊維機械展示会である ITMA (International Textile Machinery Association) のブランドと中国最大の繊維イベントである中国国際繊維機械展示会 (CITME) を統合する形で 2008 年より開催されている。

2) 基本データ

- ・開催期間：2024年10月14日～18日 (5日間)
- ・会場：国家会館
- ・出展企業数：約

2. 展示会写真速報



「その他情報」より抜粋

○ 複合機市場参入 - Katun - 1

複合機用互換カートリッジ大手の米 Katun Corporation (Katun) は 9 月 17 日、同社初となる A3 複合機ブランド「Arivia」を発表し、複合機市場に参入すると発表した。Arivia は全 11 機種をラインアップしており、モノクロ MFP が 5 機種 (25~55ppm)、カラー-MFP が 6 機種 (25~65ppm) の構成となっている。全ての機種を富士フイルムビジネスイノベーション (FBI) が OEM 供給している。



Katun は 1979 年にミネソタ州ミネアポリスで設立された。サードパーティ市場向けにトナーカートリッジ、ドラムユニットなどの各種消耗品を販売する大手ディストリビューターとして知られており、特に複合機向け製品に強みを持つ。北米など 3 地域に事業拠点があり、全世界約 8,000 のディーラーおよび販売代理店にサービスを提供している。2018 年に台湾の General Plastic Industrial (以下 GPI) が同社を買収し、傘下に収めた。GPI はサードパーティ市場向けに複写機やレーザープリンタ用の空トナーボトル、空トナーカートリッジを提供する最大手で、2023 年度売上高は約 53 億台湾ドル (約 240 億円) に上り、地域別では米国と欧州向けで全体の 80~90% を占めるとされている。

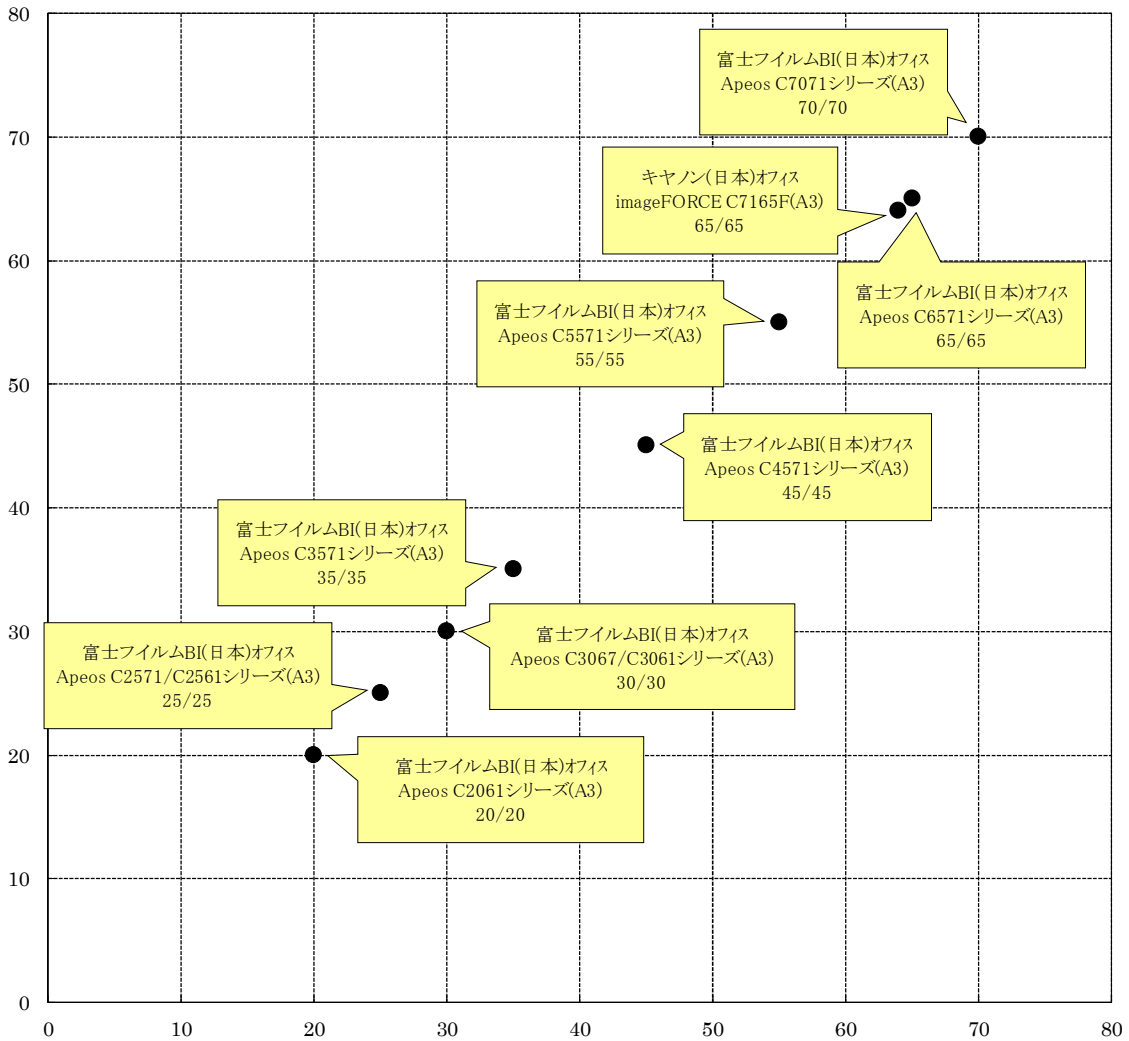
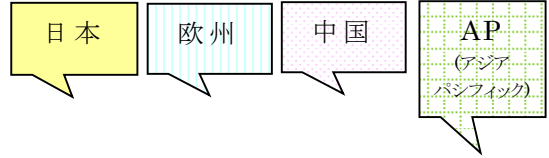
FBI にとっては、ゼロックス、レックスマークに続く米国企業向け OEM となる。Katun の複合機販売力は未知数であるが、欧米においては消耗品のリサイクルを義務化するような動きが出始めており、これらのリサイクルビジネスに向けて Katun との関係深化させていくことが出来れば FBI にとってもメリットがあるとの見方も出来るであろう。

2024. 10 Executive Summary

[今月の新製品]

1. カラーMFP (A3・・・●、A4・・・▲)

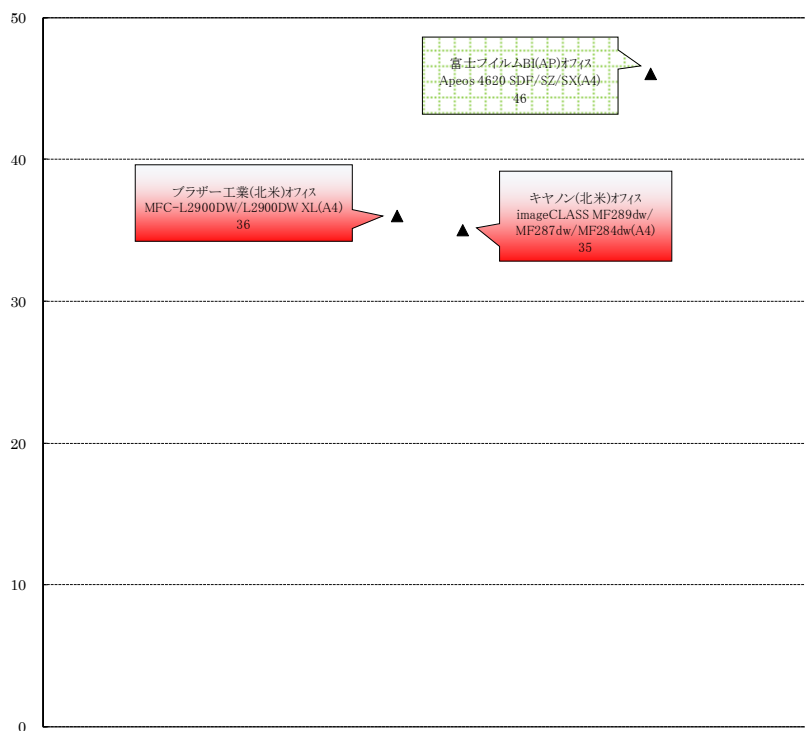
モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

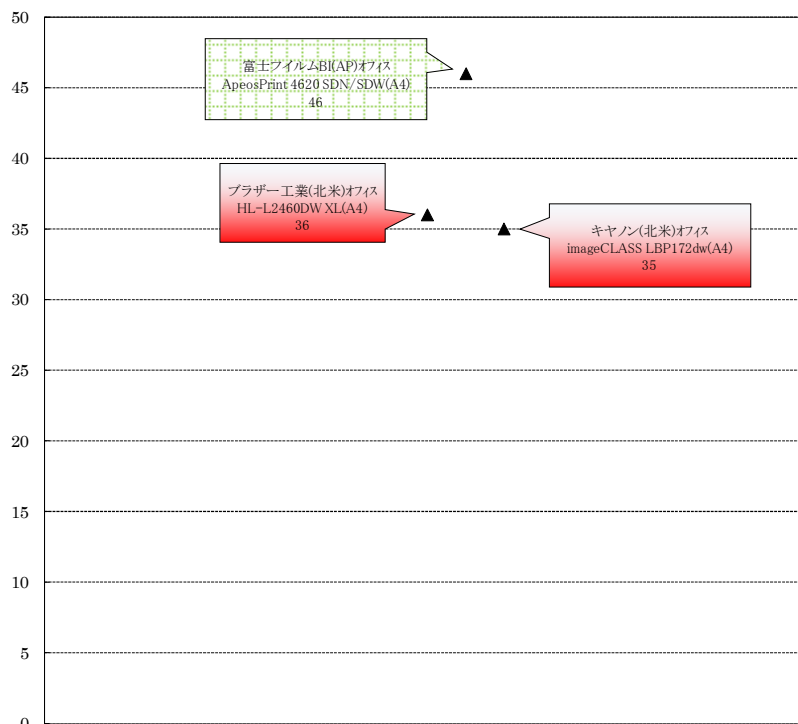
2. モノクロ MFP (A3・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



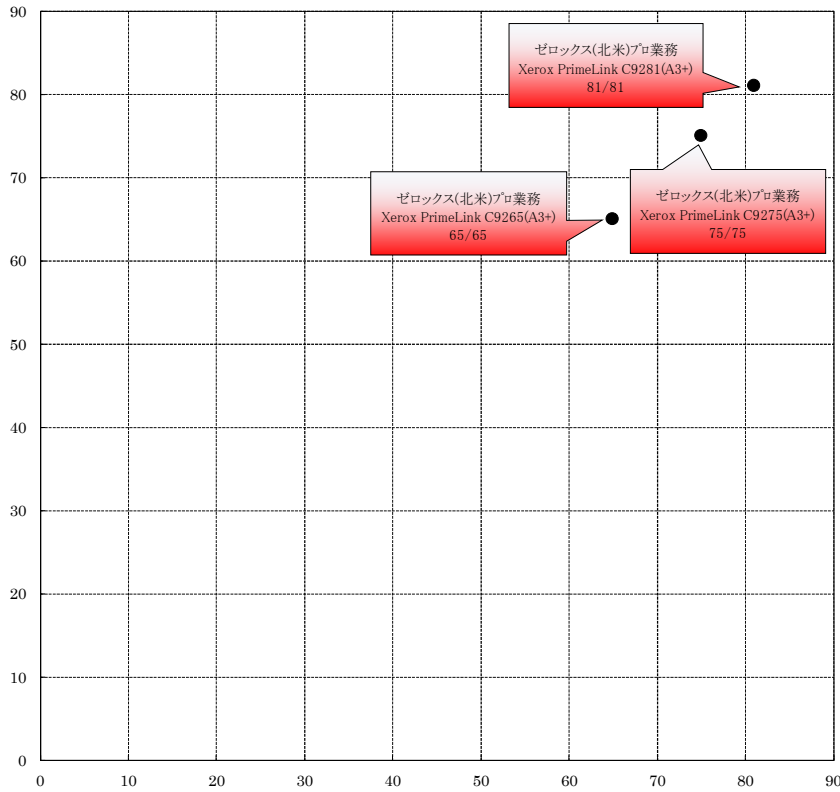
3. モノクロプリンタ (A3・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



4. カラープロダクションプリンタ (A3・A3+・・・●)

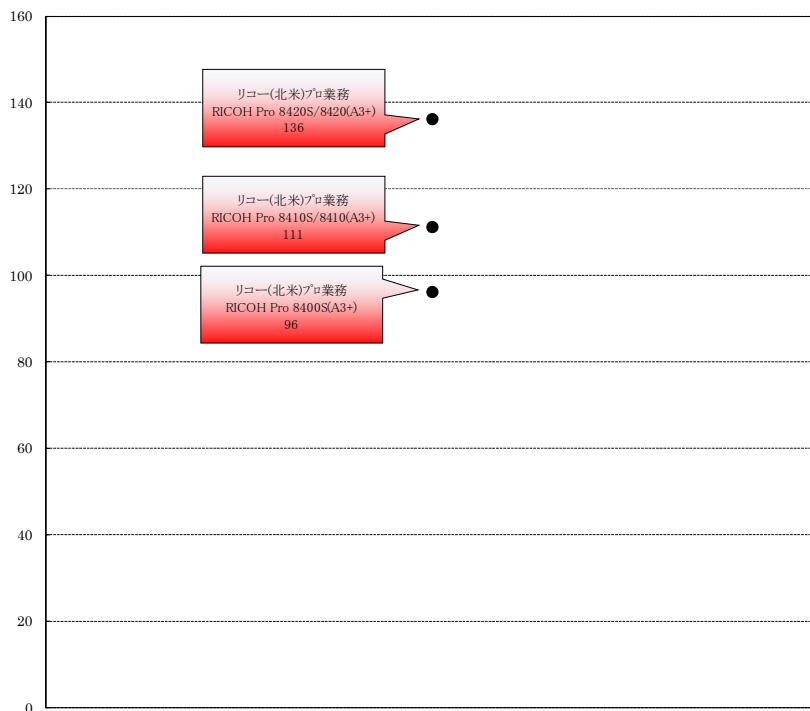
モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

5. モノクロプロダクションプリンタ (A3・A3+・・・●)

モノクロ (PPM)



2024年10月号目次

■ 特集 ■

特集1 トナー市場	1
1. 全世界のトナー市場動向	2
1) 全体 (2019年～2028年) 2) メーカー生産量シェア (2023年)	
2. モノクロ/カラー別トナー生産量の推移 (2019年～2028年)	4
3. 全世界の用途別トナー生産量 (2019年～2028年)	5
1) 全体 2) 用途別メーカーシェア (2023年)	
4. 全世界の製法別トナー生産量 (2019年～2028年)	8
1) 全体 2) 製法別メーカーシェア (2023年)	
5. 成分別トナー生産量 (2019年～2028年)	10
1) 全体 2) 成分別メーカーシェア (2023年)	
6. OEM/サードパーティ比率 (2019年～2024年)	13
7. 業界再編がトナー市場に与える影響	14
1) OEM市場シェアの変動 2) 業界再編の進捗	
特集2 OGBS 2024	19
1. 展示会の概要	19
2. 国内アパレル市場	20
3. 各社の出展状況	23
1) ブラザー工業 2) ローランド ディー.ジー.	
3) エプソン販売 4) イメージマジック	
5) アステム 6) サブリット 7) ユーロポート	

■ 実販情報 ■

FーモノクロMFP (A3) ーキヤノンー9	29
(imageRUNNER ADVANCE 4535F 他)	
FーモノクロMFP (A3) ー富士フイルム BIー6	30
(ApeosPort 3560 他)	
FーモノクロMFP (A3) ーコニカミノルターー5	31
(bizhub 136DN 他)	
FーモノクロMFP (A3) ーリコーー6	32
(IM 3500 他)	

■ 新製品及び消耗品情報 ■

〔国内〕

<オフィス向け>

NーカラーMFP (A3) ー富士フイルムビジネスイノベーションー1	33
(Apeos C3067/Apeos C3061 シリーズ)	

N-カラーMF P (A3) -富士フイルムビジネスイノベーション-2 47
 (Apeos C7071 シリーズ)

N-カラーMF P (A3) -キヤノン-2 59
 (imageFORCE C7165F)

〔北米〕

<オフィス向け>

N-モノクロプリンタ/MF P (A4) -米・キヤノン-2 68
 (imageCLASS LBP172dw/MF289dw/MF287dw/MF284dw)

N-モノクロプリンタ/MF P (A4) -米・ブラザー工業-2 74
 (HL-L2460DW XL/MFC-L2900DW/L2900DW XL)

<プロ/業務向け>

N-カラープロダクションプリンタ (A3+) -米・ゼロックス-4 80
 (Xerox PrimeLink C9200 シリーズ)

N-モノクロプロダクションプリンタ (A3+) -米・リコー-1 85
 (RICOH Pro 8400 シリーズ)

〔アジアパシフィック〕

<オフィス向け>

N-モノクロプリンタ/MF P (A4) -アジアパシフィック・富士フイルム BI-1 87
 (ApeosPrint 4620 SDN/SDW/ Apeos 4620 SDF/SZ/SX)

■ 環境情報 ■

E-再生プラスチック-コニカミノルタ-1 89
 (コニカミノルタの再生プラスチックがサトーのラベルプリンタに採用)

E-再生エネルギー-コニカミノルタ-1 90
 (トナーを除くグローバル全生産拠点で再エネ 100%を達成)

E-インクカートリッジ-ブラザー工業-1 91
 (英国生産拠点が使用済みインクカートリッジの再生を開始)

■ 生産情報 ■

P-トナー-富士フイルムビジネスイノベーション-1 92
 (トナー生産量・金額推移/「2024年版トナーマーケット総覧」より)

P-トナー-三菱ケミカル-1 93
 (トナー生産量・金額推移/「2024年版トナーマーケット総覧」より)

P-トナー用レジン-花王-1 94
 (トナー用レジン生産量・金額推移/「2024年版トナーマーケット総覧」より)

P-トナー用顔料-山陽色素-1 95
 (トナー用顔料生産量・金額推移/「2024年版トナーマーケット総覧」より)

■ その他情報 ■

○ー事業売却検討ーレックスマークー1	9 6
(レックスマークのオーナーらが同社の売却を検討)	
○ー複合機市場参入ーKatunー1	9 7
(Katun が同社初となる A3 複合機ブランド「Arivia」を発表)	
○ーM&Aー富士フイルムビジネスイノベーション/DXC Technologyー1	9 8
(富士フイルム BI が DXC Technology の基幹システム販売・導入支援事業を買収)	
○ー印刷ソリューションーHPー1	9 9
(米 HP が年次イベント「HP Imagine」において「HP Print AI」を発表)	
○ーM&AーHP/Vyoptaー1	1 0 1
(米 HP がソフトウェア企業 Vyopta を買収)	
○ーM&AーAntalis/ゼロックスー1	1 0 2
(仏 Antalis がゼロックスの EMEA 地域における用紙事業を買収)	
○ーマネージド・プリント・サービスーゼロックスー1	1 0 3
(米ゼロックスが MPS の新機能「カーボン・ニュートラル・サービス」を発表)	
○ー展示会ーITMA ASIA + CITME 2024 (写真速報)ー1	1 0 4
(展示会の概要と写真速報)	
○ー展示会ーRemaxWorld Expo 2024 (写真速報)ー1	1 0 8
(展示会の概要と写真速報)	
○ー業界関連情報ー各社ー1 0	1 1 3
キヤノンが CAD 図面・ポスター向け大判プリンタ「imagePROGRAF TZ-32000」 など 4 機種を発売/キヤノンが A2 ノビ対応インクジェットプリンタを発売/キ ヤノンがシンガポールでリサイクルプログラムを開始/キヤノンがナノインプリ ント半導体製造装置「FPA-1200NZ2C」を TIE 向けに出荷/キヤノンとアマゾン がトナーカートリッジの模倣品販売者に対して米国で商標権侵害訴訟を共同提起 /富士フイルムビジネスイノベーションが共同出資社の富士フイルム RIPCORD を 100% 子会社化/シャープの自治体向け行政キオスク端末がキャッシュレス決 済に対応/エプソンが家庭用インクジェットプリンタ計 5 機種 9 モデル新発売/ エプソン販売がスマートチャージに対応する初めてのリファーマビッシュ品「LX- 10000R」を発売/SCREEN グラフィックソリューションズが京都・久御山事業 所に「インクジェットイノベーションセンター京都」を開設/Perpetual Capital Partners が Novatech を買収/EFI が建材向けデジタルプリント事業を DPI に ライセンス供与	

統計速報

統計全体のあらまし	1 2 5
複写機統計 (生産/受入の内訳/販売/月末在庫)	1 2 6
プリンタ統計 (生産)	1 3 0
事務用機器輸出統計	1 3 1
(ネットワーク対応 MFP/単機能機)	
事務用機器輸入統計	1 3 4
(ネットワーク対応 MFP/単機能機)	

月刊『電子写真総合情報』

「月刊電子写真総合情報」は、株式会社データ・サプライが1986年9月から刊行。電子写真製品に関する総合的なレポートです。複写機(MFP)、光プリンタ、プロダクションプリンタ等に関する機種別の実販情報、新製品情報(写真掲載)、トナー、レジン、感光体、エンジン部品等の消耗品情報、生産情報、流通情報、ビジネスショー情報、複写機、プリンタ、ファクシミリ、部品の輸出統計速報(財務省)、及び生産統計速報(経済産業省)等を毎月1回レポート。その他、特集記事として、ハードウェア及び消耗品、部品の国内外市場動向、海外への進出情報、国内外展示会情報、OEM情報等のテーマをその都度取り上げ、レポート。

※年会員様は調査テーマを希望できます。(但し、事前相談が必要)

◇毎月20日刊行 年間1,200~1,300頁

◇年会費 ¥700,000(消費税別) 月会費 ¥60,000(消費税別)

英文版 \$7,000(消費税別)
2014年11月号からスタート

特集一覧(毎月のホットな話題を10~15ページ程度にまとめてお届けします)	
2024.9	・複合機・プリンタメーカーの生産拠点動向:ハードメーカー各社の最新の生産拠点動向を概括し、各社のASEANシフトの進捗、中国拠点の再編などを報告。
2024.8	・プロダクションプリンティング市場の最新動向:2023年における主要メーカーの本体出荷台数実績や製品レンジ別の市場動向、PP市場向けトナーの生産量動向を概説。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2024年4月~6月期(第1四半期※キヤノン)の決算を概説。
2024.7	・複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向:ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場を概説。
2024.6	・drupa 2024:5月28日(火)から6月7日(金)までの11日間、ドイツのデュッセルドルフにて「drupa 2024」が開催。同展示会に出展されたデジタル印刷関連の注目機種を取り上げつつ、最新の市場トレンドをレポート。
2024.5	・定着器用部材(ローラー・ベルト)の最新市場動向:定着器用部材の最新市場動向と最新トレンドを概説。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2024年度3月期(キヤノンは2023年12月期)の決算と2024年度見通し・予想を概説。
2024.4	・感光体市場:全世界の感光体市場を概説。 ・APPEXPO 2024:第31回上海国際広告技術設備展覧会での、サイン印刷市場の概要と同展示会に出展された大判インクジェットプリンタメーカーの展示を中心にレポート。
2024.3	・レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング:レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数(2023年実績)を報告。
2024.2	・全世界のMFP(複写機・複合機)出荷動向:複写機・複合機(MFP)の最新出荷動向を取り上げた。全世界及び地域別の出荷動向、カラー化の進展状況、サイズ別の出荷状況、主要メーカーの最新動向などを概説。 ・全世界のホーム&オフィス向けインクジェットプリンタ出荷動向:ホーム&オフィス向けインクジェットプリンタの最新出荷動向を取り上げた。
2024.1	・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向を概説。 ・インクジェットヘッドの外販市場:インクジェット技術の最重要パーツであるインクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を取り上げた。
2023.12	・Formnext 2023:ドイツのフランクフルトで開催された展示会について、特にバインダージェティングなどのインクジェット技術に注目し、同技術を採用する主要3Dプリンタメーカーを中心に取材を実施。 ・複合機・プリンタ業界における2023年の振り返りと2024年の展望:本誌で取り上げた2023年の重要ニュースについて、最新情報を追記していく形で振り返りつつ、2024年の業界を展望。
2023.11	・RemaxWorld Expo 2023:同展示会に出展したアフターメーカーを直接取材し、主要消耗品メーカーなどの最新情報をレポート。 ・Formnext 2023(写真速報):中ドイツのフランクフルトで開催された同展示会の様子を写真速報版として掲載。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2023年4~9月期(中間期)の決算(キヤノンのみ1~9月期)を概説。
2023.10	・トナー市場:複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。 ・中国3Dプリンタ市場:中国における3Dプリンティング技術発展の歴史を概観し、同市場を牽引する主力メーカーの動向及び中国3Dプリンタ市場全体を考察。
2023.9	・プロダクションプリント(PP本体・PP向けトナー)の最新市場動向:主要メーカーの2022年最新出荷台数実績や製品レンジ別の市場動向、PP向けトナーの生産量動向を概説。
2023.8	・トナー用レジンの最新市場動向:トナー用レジンの世界市場と日本メーカーの最新動向を概観。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2023年4月~6月期(第1四半期※キヤノン)の決算を概説。
2023.7	・ITMA 2023:同展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。 ・複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向:ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場を概説。
2023.6	・中国Ninestarの企業分析:Ninestarの徹底分析を実施。レーザープリンタや互換消耗品の売上高や出荷数量推移をまとめたほか、部材の主要調達関係も整理している。 ・ITMA 2023(速報版):展示会の主要6社の出展状況を写真速報版で掲載。
2023.5	・Interpack 2023:ドイツでの同展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポートする。現地取材は、弊社と提携関係にあるi4 inkjet Ltd社(本社:アイルランド)が実施。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年度(キヤノンは2022年12月期)の決算と2023年度見通しを概説。
2023.4	・感光体市場:全世界の感光体市場を概観。感光体需要の頭打ちに加え、原材料価格やエネルギーコストも高止まりしており、今後は技術力だけではなくコストも含めた感光体メーカーとしての総合力がより重要となると考察。
2023.3	・レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング:レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数(2022年実績)を報告。
2023.2	・全世界の複写機・複合機(MFP)出荷動向:全世界及び地域別の出荷動向、カラー化の進展状況、サイズ別の出荷状況、主要メーカーの最新動向などを概説。 ・インクジェットヘッドの外販市場:インクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を取り上げた。
2023.1	・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:同業界の状況をレポート。 ・プリンテッドエレクトロニクス・コンファレンス:プリンテッドエレクトロニクス市場の印刷方式を概観しながら、韓国、オランダ、フィンランドで開催された展示会を写真速報で紹介。
2022.12	・IGAS 2022:主要出展企業と出展状況等をレポート。 ・複合機・プリンタ業界における2022年の振り返りと2023年の展望:本誌で取り上げた2022年の重要ニュースについて、最新情報を追記していく形で振り返りつつ、2023年の業界を展望する。
2022.11	・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年4月~9月期(中間期※キヤノンは1~9月期)の決算を概説。 ・JIMTOF 2022:AM(Additive Manufacturing)エリアに出展した3Dプリンタ関連メーカーを中心にレポート。
2022.10	・Labelexpo Americas 2022:展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。(現地取材は、弊社と提携関係にあるi4 inkjet Ltd社(本社:アイルランド)が実施)

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2024年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

※セット価格は日本語版+英語版

	①日本語版		②英語版		セット ①+②	部数	金額
	価格 (税別)	刊行日	価格 (税別)	刊行日	価格 (税別)		
《 定期刊行物 》							
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート (1986年～) 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 (PDF版) 月会費：¥60,000 (PDF版)	毎月 20日	\$7,000 (PDF版) \$600 (PDF版)	毎月末	¥900,000		
i4inkjet [Directions] (年6回発行、年300頁～) ※インクジェット関連の特許技術レポート	—	—	¥550,000 ～ (PDF版)	2021年 7/27～	—		
《 2024年刊行予定物 》							
* 2024年版[感光体マーケット総覧] (263頁) 『業界変革・再編時代における感光体市場の総合分析』	¥500,000 (PDF版)	2/26	\$5,200 (PDF版)	4/15	¥800,000	日 英	
* 2024年版[ローラー系部品マーケット総覧] (372頁) 『市場成熟に向き合う部品業界の最新動向』	¥400,000 (PDF版)	4/25	\$5,000 (PDF版)	6/7	¥800,000	日 英	
* 2024年版[トナーマーケット総覧] (582頁) 『業界再編に向けて動き出すトナー業界の総合分析』	¥600,000 (PDF版)	6/27	\$6,000 (PDF版)	8/16	¥900,000	日 英	
* 2024年版[インクジェット印刷マーケット総覧] 『印刷からものづくり分野へと拡大するインクジェット技術の最新市場動向』	¥500,000 (PDF版)	10/30 予定	\$6,000 (PDF版)	12/9 予定	¥900,000	日 英	
《 2023年刊行物 》							
* 2023年版[感光体マーケット総覧] (272頁) 『変化の時代に真価が問われる感光体市場の総合分析』	¥500,000 (PDF版)	2/22	\$5,200 (PDF版)	4/21	¥700,000	日 英	
* 2023年版[ローラー系部品マーケット総覧] (385頁) 『価格上昇時代に突入した部品業界の総合分析』	¥400,000 (PDF版)	4/25	\$5,000 (PDF版)	注文 対応	—	日 英	
* 2023年版[トナーマーケット総覧] (587頁) 『環境配慮技術で生き残るトナー業界の将来性分析』	¥600,000 (PDF版)	6/27	\$6,000 (PDF版)	7/28	¥700,000	日 英	
* 2023年版[中国市場(ハードウェア・消耗品)] (222頁) 『中国企業の台頭により競争が激化する中国市場の徹底分析』	¥300,000 (PDF版)	8/29	—	—	—		
* 2023年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (389頁) 『ものづくりのスマート化を切り拓くインクジェット業界の最新市場動向』	¥500,000 (PDF版)	10/27	\$5,000 (PDF版)	12/8	¥700,000	日 英	
* 2023年版[MFPマーケット総覧] 『変革期を迎えたプリンティング業界の将来性分析』 <標準版(メーカー別総合分析版)> (674頁) <標準版>+<長期予測特別版> (753頁)	¥600,000/ ¥700,000 (PDF版)	標準版：12/22 長期予測 特別版：12/26	—	—	—		
《 その他の刊行物 》							
* 2020年版[MIFマーケット総覧] (501頁) 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	2020年 9/28	\$4,000 (PDF版)	2020年 12/23	—	日 英	
* 2020年版[緊急レポート (コロナショックと業界大規模再編)] (240頁) 『業界再編とコロナショックに揺れる事務機業界の地域別メーカー別分析』	¥300,000	2020年 4/24	\$3,000 (PDF版)	2020年 6/19	—	日 英	
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500 (PDF版)	2014年 10/31	—	日 英	